社会福祉士会だより

かながわの風

28
August
2020

http://www.kacsw.or.jp

会員番号63249：太幡慶治氏 撮影

特集 新型コロナウイルス感染症とソーシャルワーカー

……………p.4·5

●会長就任の挨拶 …… p.2
●会長退任の挨拶 …… p.3
●研修参加者へのお願い …… p.6
●理事会報告 …… p.7
●公開講座・研修情報 …… p.8

公益社団法人　神奈川県社会福祉士会
Kanagawa Association Certified Social Workers

会長就任の挨拶

新会長　隅河内（すみこうち） 司

　本年6月28日の2020年度代議員総会後の理事会において新たに会長に就任致しました隅河内（すみこうち）です。これまで長年本会の発展に尽力いただいた山下前会長並びに退任理事の方々の意志を引き継ぎ、神奈川県民の福祉向上に向けて、新体制のメンバーと共に誠意をもって県士会の運営に取り組んで参ります。

　さて、新型コロナウイルス感染症の発生によって神奈川県に出された緊急事態宣言は、5月25日に解除されましたが、今後も、ソーシャルディスタンス等の基本的な感染防止対策や新しい生活様式への行動変容を求められるなど、その影響の長期化が懸念されています。また、新型コロナウイルスが世界中に感染拡大したことにより、各国の社会経済活動も大きな打撃を受けて様々な問題も浮かび上がってきました。失業者の増加、貧富の格差問題、グローバリゼーションや価値観、これまでの歴史観の問い直し、外出制限に伴う孤独感の増大など多岐にわたっています。

　こうした状況の中、新たな考え方として、新型コロナウイルスと共に生きる社会、いわゆる「withコロナ」の社会が展望されています。これまでのように目の前の成長を追い求め、徹底した効率化を進めてきた資本主義社会から脱却して持続可能な経済モデルを基盤にする社会、また、価値観や人々の働き方、暮らし方において多様性を尊重する社会の創造に向けてシステム改革が進むことを期待します。

　2014年に改定された国際ソーシャルワーカー連盟のグローバル定義では、ソーシャルワーク専門職の中核となる「任務」としては、社会変革、社会開発・社会的結束の促進、および人々のエンパワメントと解放が示されており、抑圧や特権の構造的障壁の解消に取り組むため、専門職は不利な立場にある人と連帯しつつ、貧困を軽減し、抑圧された人々を解放し、社会的包摂と社会的結束の促進に努めなければならないとされています。また、社会開発という概念は、持続可能な発展をめざし、関係機関・団体、専門職間の協働を統合することによって実現するもので、更には社会構造的かつ経済的な開発に優先するもので、「経済成長こそが社会開発の前提条件であるという従来の考え方には賛同しない。」と謳われています。このことは、個人や家族に対する課題解決を図るために支援や、社会的差別や地域社会からの排除を克服するための働きかけを通して、社会構造や社会システムを変革し、新自由主義や市場原理至上主義を越えた社会の姿を示唆するものであり、まさに来るべき「withコロナ」時代の基底になるものです。そして、ソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割は重要であり、日々の取り組みが問われていくのではないかと考えています。

　本会は、3,000名を超える会員数で、全国でも2番目（2020年5月末現在）の規模の組織です。その中でも会員の皆さまが県士会を身近に感じ、気軽に参加・活動できるように支部を組織するとともに、各事業部の中には委員会を設けています。支部は、県内に8つあり、各支部共とても活発で、研修会や交流会など様々な工夫をしながら内容豊富に活動しています。また、委員会は、今年度から設置した「こども家庭支援委員会」のほか、権利擁護及び相談事業、生活困窮者支援、地域包括ケア推進事業、第三者評価事業などの事業部に委員会があり、会員皆様への情報提供やネットワークづくりの活動をしています。合わせて、県内各地域の第一線で活躍している社会福祉士の質の向上を目指して、能力開発とキャリアアップを支援するため、基礎研修から認定社会福祉士取得までの重層的な体系に基づく、研究機会の提供も充実し継続的に行っていますので、是非とも活用していただきたいと思います。

　今後とも、会として日々の取り組みを積み重ね、魅力を発信して、より多くの方に“社会福祉士”の活動をご理解いただくとともに、県民の福祉の向上をめざして共に歩む“神奈川県社会福祉士会”を作り上げるため努力して参りますので、会員の皆さまのご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

会長退任の挨拶

前会長　山下 康

退任のご挨拶

　思い起こせば2011年3月11日、私たちは東日本大震災を経験しました。日本社会福祉士会から被災地の地域包括支援センターへの支援や、神奈川では県からの委託事業である避難者見守り隊の事業展開をしている真っ最中の2012年6月、本多前会長からバトンを引き継ぎました。そして9年。この間、公益社団法人への移行をはじめ、生活困窮を中心とした行政からの委託事業の受託、研修体制や権利擁護事業などの充実、支部活動の発展、認定社会福祉士認証研修の開催など、福祉に関する職能団体として取り組みを進めてきました。そして、会員数は3,000人を超え、新しい時代に入り、こういった経過の中、新型コロナウイルスの時代に突入していきました。現在は緊急事態宣言も解除されて1ヶ月以上たちますが、まだまだ警戒は必要です。

　芥川賞作家の吉村萬壱さんは～「自分は絶対に他人にうつさないぞ」と考えるだけで、回りの化け物は人の顔を取り戻すものである～と朝日新聞に寄稿しています。コロナ禍のさなか、自分は絶対にうつらないようにと身構えると周りの人たちは化け物に見えてくるけれど、視点を変えると考え方も変わるということです。

　今回のコロナの問題では様々なことを考えさせられましたし、医療体制の充実やウェブでの会議や研修。時代も前に進むことになりました。そして新しい社会の形を追求しなくてはなりませんし、前の暮らしに戻ってはいけないのでしょう。私たちは、長い時間軸を基本に、コロナウイルスとどう上手に付き合っていくかという発想で生活を立て直していく必要があります。

　神奈川県社会福祉士会は、学びを止めないという視点で現在新しいウェブを活用した研修などを検討中です。そしてあらゆる差別を許さず、生活の保障を求め取り組みを加速させていきます。このようなコロナ禍の真っ最中、新会長の隅河内さんにバトンを引き継ぎます。

　これまでとは全く違う状況の中、苦労が多々あると思いますが、ソーシャルワーカーの価値と倫理に基づいて新しい時代を多くの会員や県民の皆さんと一緒に切り開いていってください。東日本大震災の時の復興支援と想いが重なります。決してあきらめず前を向いて。

特集

新型コロナウイルス感

医療法人財団報徳会西湘病院 地域医療連携室 ： 重本 晴賀

「もう僕らは死ぬしかないんでしょうか」

脳出血により入院中の男性患者家族との面談で、息子さんが絞り出すように放った一言です。精神疾患を抱えながらやっとの思いで就職したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、会社から休業を求められました。僅かな休業手当と両親の少ない年金を頼りに、苦しい日々を送っていたそうです。そんな矢先に父親が緊急入院となり、益々大きな不安を抱える事になりました。

新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は計り知れません。「経済・生活問題」による男性の自殺者数と景気動向指数の推移（厚生労働省自殺対策推進室作成）によると、リーマン・ショックの翌年（2009年）は、全国の自殺者数が3万3千人に上った事が明らかになりました。また、「認定NPO法人京都自死・自殺相談センターSotto」には、今年に入り相談件数が増えており、新型コロナウイルス感染症の影響が原因の可能性があるのではないかと懸念されています。（中国新聞2020.4.6）

当院は、西湘地区の脳卒中治療を担う急性期と医療療養病棟の機能を併せ持つケアミックス病院です。新型コロナウイルス感染症患者や疑似症患者の直接的な受け入れは行っていませんが、近隣の医療機関が新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定された事、また、他の医療機関でのクラスター発生により救急受け入れがほぼ停止した事が影響し、通常の倍以上の救急搬送患者を受け入れる事態になりました。今現在も、常に満床状態が続いています。

また、多くの病院では、感染拡大予防の為、長期に亘り面会禁止が続いており、大切な家族に会えない事態に至っています。突然の発症により緊急入院を余儀なくされた状況では、より不安を助長させる大きな要因になっており、患者様の状態や病状の問い合わせなど家族の不安を傾聴し、不安を解消できるよう奮闘する毎日です。

こうした状況の中で、私たち医療ソーシャルワーカーは、ベッドの確保の為に、通常よりも迅速な退院支援や転院・転棟調整が求められています。その上で、経済的な課題や生活の不安を抱えているクライエントの悩みを共有し、ともに向き合いながら、西湘地区で医療崩壊が起きないよう一定のベッドを確保する役割を担っています。

とにかく一刻も早い終息を願っています。

染症とソーシャルワーカー

ぱあとなあ神奈川運営委員会：委員長　田中 晃

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言は、5月25日をもって全国的に解除されました。しかし、依然として感染拡大防止のためのさまざまな対応が求められ、後見活動においても、これまでとは異なる活動のあり方が模索されているところです。

本人との面会が難しいうえ、生活維持のための施設や、裁判所など手続きに必要な関係機関が活動を自粛する中で、「うつさない」「うつらない」感染予防を実践しつつも、後見人自身が感染した場合、また被後見人が感染した場合はどうすればよいかに悩みながら活動を続けるぱあとなあ部員の実践の一部を紹介します。

判断能力が不十分な被後見人は、ご自身で感染予防策を取ることが難しく、紙類の品薄や連日のコロナに関する報道も大きく影響して、特に在宅の方の心配はつきません。日常の金銭管理のための訪問、銀行や役所での手続きへの同行、救急搬送への対応、医療機関でのクラスター発生による受診制限により、薬の受け取りの代行などもしなければならないケースもありました。本人との接触を最小限にしつつ、できる限りの対応をしましたが、コロナ禍では支援が必要になる状況が増える面があり、もっと配慮が必要でした。

実際、単身の方で在宅生活を維持することが困難との判断から、グループホームへの入居につなげざるを得なかった事例もありました。逆に病院からの退院がストップした事例もあり、居所の課題もありました。施設を利用する被後見人の方は、ほぼ面会禁止の状態になりました。しかし、施設の配慮により、リモート訪問で本人に面会できたケースや、施設や医療機関のスタッフの方から、電話で本人の状況を把握することができたケースもありました。

在宅では介護事業所、訪問看護事業所、ケアマネジャーとの連携。施設では日頃からの良い関係づくりが大切、ということを改めて実感しました。

もう一つの課題は、後見人自身の感染や、濃厚接触等で陽性疑いとなった場合の対処法です。被後見人等の引継ぎ、資料の管理、自分の家族に対して、何処へ連絡し何を伝えるかの確認などを考えたという方も多かったと思います。ぱあとなあの社会福祉士成年後見人は、これからもご本人に寄り添い活動していきます。

わたしの感染対策

私の自宅訪問面会用の感染予防グッズです。どうしてもお会いしたい方の訪問用に、バッグにまとめています。消毒用アルコール、相手の方用のマスク、使い捨てスリッパ、咳き込みのある方用としてフェイスガードです。

神奈川県社会福祉士会では、今後、研修や講座の開催を再開するにあたって、感染症防止対策の準備を進めています。その一つとして、【研修受講の皆様へのお願い】と、【体調チェックシート】を作成しました。研修や講座の開催時にはご協力いただけますよう、お願いいたします。

自分は、かからない。うつさないために。

研修参加者へのお願い

～新型コロナウイルス等の感染症対策について～

公益社団法人神奈川県社会福祉士会での対策

研修委員・職員は体調管理に努め、うがい、手洗い等の感染予防を励行し、当日は、マスクを着用して研修運営をいたします。

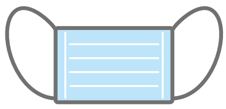
研修参加の皆様と研修委員・職員の健康と安全確保のための対策ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

研修の開催について

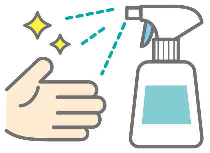
研修開催に関し、感染症拡大状況等により、中止または延期になる場合があります。

その場合は、ホームページ等でお知らせいたしますので、事前にご確認いただきますようお願いいたします。（web▷**http://www.kacsw.or.jp/**）

研修受講の皆様へのお願い



- 当日、体調をご確認の上、来場してください。
- 研修3日前までに、発熱や咳、のどの痛み、腹痛など、風邪症状、嗅覚・味覚異常、その他体調がすぐれない方などは、研修参加をお控えください。
- 来場時及び研修受講中は、マスクの着用をお願いいたします。
  ※なお、マスクは本会での用意はありませんのでご自身で準備してください。
- 体調チェックシートを記入して、受付係員にお渡しください。
- 受付に、手指消毒液を用意しております。ご使用の上、会場内にお入りください。
- 着席できない椅子や机には、印をしております。ご確認の上、着席してください。
- 研修受講中、体調がすぐれない場合は、我慢せずに、早めに申し出てください。
  ※咳などの症状がひどい場合は、退席をお願いする場合があります。予めご了承ください。
- 研修終了後は、すみやかに退室してください。



体調チェックシート

体調チェックシート ～新型コロナウイルス感染症等用～

研修参加にあたり、ご自身の体調等をご申告ください。

★研修タイトル ＿＿あらかじめ運営側が記載＿＿

★研修年月日　２０２０年　　月　　日　←あらかじめ運営側が記載

★研修参加者名：＿＿＿＿＿＿＿＿

★以下の項目に☑をお願いいたします。

	体温：　　　℃（検温時間：　　日　　：　　頃）
	咳やのどの痛みなどの症状はありません
	臭いがしない、味がしないなどの異常はありません
	普段と違う症状や体調ではありません
	家族や職場などでの感染者はなく濃厚接触者にはなっていません

その他体調等について気になることがありましたらご記入ください。

★検温は研修当日、出発前に行ってください。

★　この情報は感染があった場合には、会場側、保健所等に情報提供されますことをご了承ください。

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

公益社団法人 神奈川県社会福祉士会

〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡4-2-3F

TEL 045-317-2045
FAX 045-317-2046
Mail jimu@kacsw.or.jp

事務局開設時間 平日9:00～17:00

〈2019(令和元)年度 理事会 報告〉(偶数月開催以外は臨時理事会となっています)

■臨時理事会　2020年3月15日(日)開催予定を変更→新型肺炎コロナウイルス感染症拡大防止のため書面会議

審議事項〈全承認〉　**議案1**:入退会審査(2月分)→2月入会1、退会4、転入0、転出1、2月末会員数3,112、組織率17.95%　**議案2**:2020年度神奈川県社会福祉士会事業計画(案)　**議案3**:2020年度神奈川県社会福祉士会予算(案)　**議案4**:2020年度資金調達及び設備投資の見込み　**議案5**:2020年度支部公益事業活動費交付申請　**議案6**:ぱあとなあ神奈川成年後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦、法人後見状況　**議案7**:規則改正案　就業規則改正(案)　①就業規則改正案　②非常勤就業規則改正案

〈2020(令和2)年度 理事会 報告〉

■第1回　通常理事会　2020年4月15日(水)感染症予防のため書面会議

審議事項〈全承認〉　**議案1**:ぱあとなあ神奈川名簿登録審査　**議案2**:2020年度生活困窮者就労準備支援事業及び居住の安定確保支援事業(かがやき厚木)業務委託契約　**議案3**:規則改正案　就業規則改正　非常勤就業規則改正案

報告事項　①ぱあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況　②2020年度認証研修更新手続き　③業務執行理事活動報告　④2月15日開催書面理事会議事録

■第2回　臨時理事会　2020年5月17日(日)感染症予防のため書面会議

審議事項〈全承認〉　**議案1**:入退会審査(3・4月分)→4月入会57、退会8、転入6、転出2、4月末会員数3,076　組織率17.26%　**議案2**:ぱあとなあ神奈川名簿登録審査・後見人等候補者推薦、法人後見状況　**議案3**:2020年度神奈川県地域生活定着支援センター事業委託契約　**議案4**:2020年度更生支援福祉ネットワーク構築事業委託契約　**議案5**:2020年度神奈川県生活困窮者自立支援制都道府県研修事業委託　**議案6**:2020年度神奈川県介護支援専門員実務研修受講試験審査業務委託

協議事項　①2019年度事業報告案の確認　②コロナウイルス感染拡大防止への観点からの検討−総会・研修会・委員会等

報告事項　①業務執行理事活動報告　②推薦後援状況　③監事監査日　④4月15日開催書面理事会議事録

■第3回　通常理事会　2020年6月9日(火)感染症予防のためオンライン会議〈全承認〉

議長:山下会長　議事録署名:出席全理事・監事　出席理事:12名　江原監事　事務局2名

審議事項　**議案1**:2019年度事業報告案　**議案2**:2019年度決算報告案　**議案3**:ぱあとなあ神奈川成年後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦、法人後見状況　**議案4**:役員賠償責任保険2020年度の契約(更新)　**議案5**:代議員総会議事

協議事項　①2020年度4月以降の会計執行状況　②広報「かながわの風」企画内容検討　③新型コロナウイルス感染拡大防止の伴う社会的課題への対応　行政機関への要望書について

報告事項　①監事監査(5月31日実施)の報告　②正副会長動向(前回理事会以降6月5日迄)　③委員会事業部2か月活動報告(2月・3月分)　④各推薦後援状況　⑤関東甲信越ブロック関係　⑥前回書面理事会(5月)の議事録

■第4回　臨時理事会　2020年6月24日(水)感染症予防のためオンライン会議〈全承認〉

議長:山下会長　議事録署名:出席全理事・監事　出席理事:14名　江原監事　事務局2名

審議事項　**議案1**:入退会審査(5月分)→5月入会21、退会11、転入1、転出1、5月末会員数3,094　組織率17.05%　**議案2**:ぱあとなあ神奈川名簿登載　**議案3**:規則改正案　規則36号　権利擁護・成年後見事業における名簿登録に関する規則改正案　細則18号賞与支払いに関する細則改正案

協議事項　①今後の講座・研修会等の進め方　オンラインによる研修会　②研修時の注意喚起事項配布チラシ案　感染症対策の注意事項のチラシ案を検討

報告事項　①6月20日開催　日本社会福祉士会書面表決説明会　②第三者評価事業部　運営委員会委員長と決定委員会委員の交代　③6月9日理事会の議事録確認

■2020年度　代議員総会報告　2020年6月28日(日)感染症予防のためオンライン会議で開催

出席代議員　議決権のある総代議員数:56名　出席代議員数:48名(出席15名+委任状33名)

審議事項　**議案1**:2019年度事業報告(案)　**議案2**:2019年度決算報告(案)　**議案3**:2020年度、2021年度役員(案)　**議案4**:役員賠償責任保険加入更新の取扱　〈以上承認〉

報告事項　①2020年度事業計画について　②2020年度予算について　〈以上了承〉

■第5回　臨時理事会　2020年6月28日(日)代議員総会終了後　14:30〜14:40で開催

議長:隅河内司　議事録署名:出席全理事・監事　出席理事:14名　監事:東海林崇・吉田勝利　事務局2名

役員体制について、互選により、会長、副会長を次のように決定した。
会長:隅河内 司　副会長:別府 政行　田中 晃　金井 直子

～公開講座＆研修会～

お申込み・お問い合わせは
電話：045-317-2045
FAX：045-317-2046　e-mail：web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会　事務局　までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
9	4	13:00	15:00	オンライン倫理カフェ	社会福祉士だからこそ抱くモヤモヤや理不尽さを共有し、社会福祉と倫理学の研究者の手引きで読み解いていきます。	オンライン	横浜	会員	無料
11	14	13:00	15:00	オンライン倫理カフェ	社会福祉士だからこそ抱くモヤモヤや理不尽さを共有し、社会福祉と倫理学の研究者の手引きで読み解いていきます。	オンライン	横浜	会員	無料

開催を予定しておりました、研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、やむなく開催を中止、あるいは延期する措置を取らせて頂いております。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようよろしくお願い申し上げげます。なお、中止、延期の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/　神奈川県社会福祉士会 研修 講座　検索

広報委員会よりお知らせ

BEST SHOT を お待ちしています!

表紙写真大募集!!

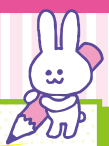
あなたの写真で「かながわの風」の表紙を飾りませんか？

広報委員会では「かながわの風」の表紙を飾る写真を募集しています。

- テーマ：神奈川の風景
- カメラ：デジタルカメラで、一眼レフやコンパクトカメラ、スマートフォンなど機種は問いません。
- 画素数：3024×4032ピクセル以上
- 送信先：koho@kacsw.or.jp

《ご注意》

- ●写真のファイルサイズが大きい場合は、クラウドストレージなどをご利用ください。送信方法がご不明な場合は、左記メールアドレスまでご相談ください。
- ●人物を被写体にしないでください。人物が個人を特定できるサイズで写っている場合は、同意を得た場合でも採用しない場合があります。
- ●採用する場合は、掲載号発行前にメールにてご連絡を差し上げます。不採用の場合はご連絡を差し上げませんので、ご容赦ください。



編集委員も同時募集中！

本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願い致します。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00～21:00に開催しております。

（広報委員長：日向　明）

編集後記

遍(あまね)く想い…

まずは医療関係者の皆様、公共機関の皆様、その他のエッセンシャルワーカーの皆様の活動により、コロナウイルス状況下においても社会生活が維持されていることに大変感謝申し上げます。第二波の影が不気味に広がる中、まだまだ先の見通せない現状に不安を抱かざるを得ない毎日が人々を憂鬱にさせる。しかし私たちは多くの困難が訪れようとも、その漢字を繰り返し胸にあたためてきた。それは「絆」である。今こそ一人ひとりが互いを思いやり、そして他人の中に自分と同じ美しさを認め、自分の中に他人と同じ醜さを認め、互いを補い合いながらこの感染症を乗り越える時ではなかろうか。「マスク警察」「自粛警察」なる言葉も生まれたが、今は他人を責めている場合ではあるまい。自分の為にすべきこと、他人の為にしなければならないこと、今こそ「絆」を実践するべき時であろう…。

また、この度の豪雨により被災された方々に、一日でも早く平穏な日が訪れますようお祈り申し上げます。報道による被害を伝えるニュースや橋が流されていく映像に、今その瞬間にある方々がどうかご無事であれと思うばかりである。被災された多くの方が、避難所の体育館等で、固い床に身を休めていると思うと、冷房が効いた部屋でこの原稿を推敲している我が身が…、言葉も出ない。一日でも一分でもいや、一秒でも早く平穏であった元の生活に戻れるようにと願うばかりである。広報という「任」にありながら、ありきたりな文字しか綴れない、祈ることしかできないわが身がひどくもどかしい…。

感染症と自然災害の二つの困難に直面しているが、「災害復旧・復興」と「感染症の終息」という遍く人々の切なる想い胸に、日々の生活の中にある、幾つものありふれた瞬間がいかに「幸せ」であるか今一度、自分に問うてみたい。そんな文月である…。

（広報委員長:日向　明）

■　■　■　広報委員会よりお詫び　■　■　■

本号の発行が大変遅れましたことお詫び申し上げます。コロナウイルスの影響により活動が停滞傾向にあることに加え、取材対象への配慮および取材先様への自粛等、様々な事情により、編集に遅れが生じ、皆様にご迷惑をおかけすることとなりました。今後も先の見通せない状況下での編集作業となりますので、発行が遅延する可能性は否めませんが、定期の発行に近づけるよう広報委員一同、一歩一歩努力を重ねて参ります。いましばらくご迷惑をおかけ致しますが、ご理解賜りますようよろしくお願い致します。

発行：2020 年８月　発行責任者：会長 隅河内 司　編集：公益社団法人神奈川県社会福祉士会広報委員会　印刷：株式会社ガリバー